

学校概要

創立 110 周年	学校長 小西 俊光	副校長 加藤 智敏	学期 2 学期制	児童・生徒数 580 人
学級数 一般級： 19 個別支援級： 2		主な関係校： 浅間台小学校		

学校教育目標

○目標を持ち、自主的に粘り強く学び、自分を高めようとする子どもを育てます。(知)  
 ○礼儀や規律、人とかかわりを大切に、自分や相手を大切にする子どもを育てます。(徳)  
 ○望ましい生活習慣を身につけ、自分の心と体を鍛え、健康と生命を大切にする子どもを育てます。(体)  
 ○まちと人を愛し、自分にできることを考え、互いに協力して行動する子どもを育てます。(公)  
 ○コミュニケーションを通して視野を広げ、様々な課題を自らの学びとする子どもを育てます。(開)

学校の特色

- 学区に横浜駅中心部や古くからの商店街があり、例大祭等の地域行事も盛んである。幼稚園・保育園等とも交流があるため、生活科や社会科、『横浜の時間』の学習に活用できる材が豊富である。
- 保護者・地域との連携が強く、地域のボランティア活動や学習ボランティアなどのPTA活動にも協力的である。
- 教材研究に熱心な教職員が多く、お互いに学び合い、協力し合う姿勢が見られる。
- 児童支援専任に頼りすぎることなく、総合的な教師力の向上を図る必要がある。
- 組織の一員として職務を遂行する力をつけ、次に残る仕事ができるようにする。

学校経営中期取組目標

○子どもが期待して登校し、熱中して学び、満足して帰る学校づくりを目指します。  
 ・子どもが自分のよさを生かして学びを創る授業づくりが推進され、学力・体力の向上が図られています。  
 ・多様な集団の中で一人一人が大切にされ、安心して楽しい学校生活を過ごせるようにしています。  
 ・地域・保護者と連携・協働して、社会の要請や期待に応える学校づくりが行われています。

小中一貫教育の取組

岡野中学校	ブロック	岡野中学校、浅間台小学校
9年間で育てる子ども像	○人にやさしく、人に役立つ、主体的に学ぶ子ども ○すすんであいさつが出来る子ども ○地域と関わりながら、地域を大切にする子ども	
自校の具体的取組	○児童生徒指導に関する情報の共有と指導上の連携を行います。 ○必要に応じて小中一貫カリキュラムの改善を図ります。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	子どもが自分のよさを生かして学びを創る授業づくりを進め、学習の習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む力を育てています。	①学び合い、高め合う授業の追究 ②学力・学習状況調査の結果分析の周知とデータに基づく指導の重点化 ③個に応じた指導の充実（スタディルームの継続） ④朝のドリルタイム・本よみタイムの充実
豊かな心	道徳の時間をはじめ、様々な教育活動を通して、自分や他人を尊重する心情や態度の育成、規範意識の向上が図られています。	①道徳教育の充実(年1回以上の授業参観による公開、「生きる」「私たちの道徳」の効果的な活用等) ②地域や岡野中学校と連携したあいさつ運動の継続や感謝の気持ちを表せる子どもの育成 ③異学年交流を通じた子ども同士の親和的な関係づくり ④規範意識の育成 ⑤音楽活動の充実
健やかな体	家庭と協力し個に応じた生活習慣の改善を図り、日常の体育科指導や特設クラブ、「体力アップタイム」、食育等を通して健康・体力の向上を図っています。	①新体力テストのデータに基づく体力アップタイムの年間を通じた指導内容の充実 ②西スポーツセンターと協働した体力アップタイムの推進 ③特設タグラグビークラブの活動の継続、大会への参加 ④食育推進及びアレルギー対応の周知、徹底 ⑤家庭と協力した生活習慣の改善
特別支援教育	特別な支援が必要な子どもに対し、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を立て、全校体制でそれぞれの子どもに合った指導が行われています。	①「個別の教育支援教育」「個別の指導計画」作成を伴う一人一人に合った指導内容の提示 ②個別支援学級の指導の充実(交流級との連携推進) ③通級指導担当教諭との連携(在籍学級、保護者、関係機関との連携)
児童指導	あいさつ運動が定着し、安心して楽しい学校生活を送ることができています。 ・いじめや暴力について、早期発見及び早期の丁寧な対応が行われています。	①自他のよさを認め合い、自尊感情を育む教育の推進 ②児童支援専任教諭と学年主任との連携による集団指導体制の強化 ③キレない子どもを育てる「セカンドステップ」の継続実施 ④いじめや暴力の早期発見及び丁寧な対応の継続
地域連携協働	学校説明会・学級や学年懇談会・平沼小懇話会、学校HP等により、教育のねらいが共有され、「平沼共育ネットワーク」を活用した運営がなされています。	①平沼共育ネットワークとの連携強化及び活動充実 ②地域住民との交流の推進(納涼祭、健民祭等各種地域行事への積極的な参加) ③学校説明会、懇談会、平沼小懇話会、学校HP等を活用した積極的な情報発信
人材育成・組織運営	教職員の専門性が向上するとともに、各種研修・学年研等を通して、教師力の向上が計画的に行なわれている。	①校内研修の計画的な実施により、学校に求められる教職員の力量の向上を図る。 ②メンターチームや学年研等を通して、授業力のみならず、児童支援の資質や能力、地域や保護者との連携力の向上を図る。③組織の効果的運営とミドルリーダーの育成を図り、学年主任を中心とした指導体制を確立する。